

第 55 回日本実験動物技術者協会総会 2021 Gifu

開催案内

会 期：2021 年 10 月 14 日（木）・15 日（金）・16 日（土）

会 場：Web 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

大 会 長：千原 猛（四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科）

副大会長：廣江 猛（自然科学研究機構 動物資源共同利用研究センター）

実行委員長：羽根田 千江美（藤田医科大学 研究支援推進本部 疾患モデル教育研究サポートセンター）

事務局長：石河 秀樹（三重大学 先端科学研究支援センター 動物実験施設）

大会 HP：<http://www.jaeat-tokaihokuriku.org/2021gifu/>

大会事務局：〒 514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

国立大学法人三重大学 地域イノベーション推進機構

先端科学研究支援センター

TEL 059-231-5033

FAX 059-231-5220

E-mail：mail2021@jaeat-tokaihokuriku.org

1. 参加者の方へ

◇総会参加登録費（講演要旨集代含む）

事前登録：会員 6,000 円 非会員 8,000 円 学生会員 3,000 円 一般学生 5,000 円

※講演要旨集のみを希望の方は 1 冊 2,000 円にて販売いたします。

※今大会は Web 開催のため、当日登録は行いません。

◇参加について

第 55 回日本実験動物技術者協会総会は Web 開催と致します。「Web 開催特設サイト」から各セッションにご参加いただく形になります。

- ・大会 HP より「Web 開催特設サイト」ボタンを押すとログイン画面が表示されますので、事前にメールにてご案内いたしました ID とパスワードを入力してログインしてください。
- ・「Web 開催特設サイト」は 10 月 13 日（水）9：00～10 月 18 日（月）9：00 となります。
- ・「オンデマンド配信」は 10 月 28 日（木）9：00～11 月 11 日（木）18：00 となります。
- ・Zoom ウェビナーを利用いたします。参加者は視聴のみ可能で、マイクやカメラ、画面共有は原則として使用不可となります。

◇懇親会

リモート懇親会を予定しています（参加費無料）。

※詳細は HP でご案内いたします。

◇キャンセルについて

参加登録期間後および登録費納入後の取り消しは、お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしません。

◇Well-beingひろばについて

Zoom ミーティングを利用し、事前予約制といたします。

- ・ ご所属およびお名前
- ・ ご希望日時
- ・ 相談内容（簡単にまとめて）
- ・ 相談員のご指名も、あれば受け付けます！

上記3点（または4点）を記載して、下記の福祉部員直通・今大会限定メールアドレス宛にご送付ください。日時の確定は、後程こちらからお送りいたします。予約は大会最終日まで受け付けています。

予約用メールアドレス well-being@jaeat-tokaihokuriku.org

◇視聴に関しての注意事項

本総会に関わるライブ配信動画、e-ポスター等の録画・録音・撮影・印刷やスクリーンショット等でキャプチャーする行為、また無断転用・複製は一切禁止いたします。

2. 座長・パーソナリティ・ファシリテーターの方へのお願い

Zoom ウェビナーを利用してライブ配信いたします。

担当セッションの10分前までに指定のURLでアクセスしてください。アクセスいただくURLや進行方法につきましては、別途各々ご案内いたします。

ご担当のセッションの進行は一任致しますが、以降のセッションに影響が出ないように時間厳守で進行いただけますようお願いいたします。

なお、PC、カメラ、イヤホン、マイク（*）、インターネット回線（有線LAN推奨）をご準備願います。

*内臓マイクを使用しますとノイズの影響が大きくなりますので、ヘッドセットなど、外付けマイクの使用をお薦めします。

3. 特別講演、教育講演、教育セミナー、セミナー、サテライトセミナー、シンポジウム、トピックスの演者の方へ

Zoom ウェビナーを利用してライブ配信いたします。

担当セッションの10分前までに指定のURLでアクセスしてください。アクセスいただくURLや進行方法につきましては、別途各々ご案内いたします。

なお、PC、カメラ、イヤホン、マイク（*）、インターネット回線（有線LAN推奨）をご準備願います。

*内臓マイクを使用しますとノイズの影響が大きくなりますので、ヘッドセットなど、外付けマイクの使用をお薦めします。

当日のライブ発表はレコーディングさせていただき、後日オンデマンド配信いたします。

4. 一般講演（口頭発表）演者の方へ

◇発表準備および発表方法

原稿を予め録画し事務局にお送りください。お送りいただきました原稿を大会側でチェックします。大会前日に接続等のテストを行います。前日のテストについては別途各々ご案内いたします。

当日は事前にお送りいただいたデータをオペレーターが配信いたします。ご自身で発表スライドを共有・操作していただく必要はありません。

発表の時間になりましたらカメラとマイク機能をオンにし、座長からの演者紹介後に「自己紹介」「それでは発表動画をお願いします」でオペレーターが発表動画を配信します。発表動画配信中は、カメラとマイク機能をオフにしてください。発表動画終了に近づきましたらカメラとマイク機能をオンにし座長の指示にしたがい質疑応答を行ってください。

なお、PC、カメラ、イヤホン、マイク（*）、インターネット回線（有線 LAN 推奨）をご準備願います。

*内臓マイクを使用しますとノイズの影響が大きくなりますので、ヘッドセットなど、外付けマイクの使用をお勧めします。

当日の発表はレコーディングさせていただき、後日オンデマンド配信いたします。

◇発表データ

・提出するデータのフォーマットは動画ファイル（.mp4）のみです。

Microsoft PowerPoint（Windows、Mac）を用い、音声を収録して発表ファイル（8分以内）を作成し、動画ファイル（.mp4）として書き出して、提出して下さい。動画は1ファイルとしてください（3分の動画2本でといったことはできません）。

・PowerPoint ソフトはできるだけ最新版をご使用ください。元のスライドサイズは16:9を設定してください。スライド枚数は問いませんが収録時間は最大8分となります。

◇発表データ受付

個別にアップロード用の URL を9月24日（金）にお送り致しますので期日までにアップロードをお願いします。

録画方法、送付方法がわからない場合には、事務局にお問い合わせください。

データ提出期限：2021年10月4日（月）17：00

※オンデマンド配信期間終了後、大会事務局が責任を持ってお預かりした発表用データをすべて消去いたします。

◇発表時間

予定発表時刻の10分前もしくは前の演者の発表が始まりましたら指定の URL でアクセスしてください。アクセスいただく URL や進行方法につきましては、別途各々ご案内いたします。発表時間は、口演8分、質疑応答2分の計10分です。

なお、質疑中に通信状態が悪くなった場合でも、時間厳守で進行させていただきますのでご了承ください（発表時間の延長はできません）。

5. 質疑をされる皆様へ

質疑応答には ZOOM ウェビナーの「Q&A」機能を使用してください。「Q&A」ウィンドウに質問事項をご入力の上送信してください。座長が代わりに質問を読み上げます（全ての質問に回答ができるわけではございませんのでご了承ください）。

6. ポスター発表演者の方へ

◇発表準備

原則 A3 縦サイズ 1 枚で作成し、A3 サイズで PDF 変換し事前に提出してください。最上段左側に演題番号（P ○）を記載してください。演題名、発表者名（発表者の前に○印）、所属機関名を上部に記載してください。海外からの参加者にも配慮して、演題名と発表者名は和文と英文で表記してください。

PDF のファイル名は、「演題番号_発表者氏名(漢字フルネーム表記)」としてください。(例:P01_○○○○.pdf)

◇発表データ受付

個別にアップロード用の URL を 9 月 17 日（金）にお送り致しますので期日までにアップロードをお願いします。期限内は何度でもアップロードをし直すことができます。締切時点でアップロードされているものが掲載されます。

アップロードできる PDF のサイズは（容量は）は 15MB までです。

データ提出期限：2021 年 9 月 29 日（水）17：00

◇ポスター発表方法

発表いただくポスターは、10 月 13 日（水）9：00 より「Web 開催特設サイト」より閲覧可能になります。

ポスター会場の各ポスター番号の ZOOM ウェビナーミーティングのブレイクアウトルームでフリーのプレゼンテーションおよびディスカッションとします。座長はもうけません。

発表者は各コアタイム 10 分前に「Web 開催特設サイト」から ZOOM ブレイクアウトルームの自身の演題番号に入室していただき待機をお願いします。所定のコアタイム時間内は各ブレイクアウトルームでご対応お願いいたします。

コアタイム日時：ポスター番号奇数 2021 年 10 月 15 日（金）14：10～14：40

ポスター番号偶数 2021 年 10 月 16 日（土）13：00～13：30

※提出いただいたポスターは、大会事務局でコピー、DL 等ができないようセキュリティ加工をし、終了後は責任をもって消去いたします。

タイムスケジュール

10 月 14 日（木）

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

15:00 ~ 17:00

実技協本部共催企画
サテライトセミナー
「何ならできる？
動物福祉」
ー現場からの共有ー

10月15日（金）

	A 会場	B 会場	ポスター発表	Well-beingひろば
9:00	9:15 開会の辞			
10:00	9:30 ～ 10:45 特別講演 池谷幸樹 世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ館長	9:30 ～ 12:40 一般演題 1 O1-1 ～ O1-16 10分×16演題	9:30 ～ 17:20	9:30 ～ 13:20 Well-beingひろば ※予約制（詳細は 要旨集本文に記載） ※ご予約時間にご 入場ください
11:00	11:00 ～ 12:00 教育講演 斉藤貴志 名古屋市立大学	口頭発表 O1-1、O1-2 四日市看護医療大学、 澤田浩秀先生の発表は、 O1-2、O1-1の順に 変更になりました。		
12:00				
13:00	12:40 ～ 13:20 企業アピール		ポスター展示	
	13:30 ～ 14:00 各賞受賞者のご芳名紹介 第56回大会案内			
14:00			14:10 ～ 14:40 コアタイム 奇数ポスター番号	14:10 ～ 17:20 Well-beingひろば ※予約制（詳細は 要旨集本文に記載） ※ご予約時間にご 入場ください
15:00		14:50 ～ 15:50 一般演題 2 O2-1 ～ O2-5 10分×5演題		
16:00	15:15 ～ 17:15 シンポジウム 1 旭川企画 実験動物技術者の 教育と育成の これから	16:00 ～ 17:20 トピックス 動物実験を取り 巻く機器の変遷 －過去・現在・未来－		
17:00				

13:30 ～ 14:00
第55回総会（会場：株式会社コムラ 会議室）
総会の Web 配信は行いません

10月16日（土）

	A 会場	B 会場	ポスター発表	Well-beingひろば
9:00				
10:00	9:15 ～ 10:15 シンポジウム 2 実技協本部共催企画 動物実験における 適切な麻酔方法と 安楽死を目指して	9:15 ～ 10:45 セミナーⅡ 環境材料（ホコリ）の 有効活用 - 定期微生物モニタリング から除染確認まで	9:15 ～ 15:00 ポスター展示	9:15 ～ 14:00
11:00	10:30 ～ 12:00 実技協本部共催企画 シンポジウム 3 スキルアップ・ ステップアップの マテリアル～講演会・ 講習会 in 支部活動 s ～	11:00 ～ 12:10 一般演題 3 O3-1 ～ O3-6 10 分×6 演題		Well-beingひろば ※予約制（詳細は 要旨集本文に記載） ※ご予約時間 にご入場ください
12:00	12:10 ～ 12:50 企業アピール			
13:00	13:00 ～ 14:00 教育セミナー 長尾静子 藤田医科大学		13:00 ～ 13:30 コアタイム 偶数ポスター番号	
14:00	14:00 ～ 15:00 セミナーⅠ コロナ禍における 生産場での対応	14:00 ～ 15:00 東海実験動物研究会 共催企画 猪島康雄 岐阜大学		
15:00	15:10 ～ 閉会挨拶			
16:00				

第 55 回 日本実験動物技術者協会総会 プログラム

特 別 講 演

10 月 15 日（金）9:30～10:45 A 会場

座長 羽根田 千江美（藤田医科大学 研究支援推進本部 疾患モデル教育研究サポートセンター）

「水族館の飼育と SDGs ～終わりのない謎の扉～」

池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館アクア・トト ぎふ 館長）

教 育 講 演

10 月 15 日（金）11:00～12:00 A 会場

座長 千原 猛（四日市看護医療大学 看護医療学部臨床検査学科）

「アルツハイマー病モデルマウスの開発とその問題点、そして今後の展開」

齊藤 貴志（名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経科学研究所・認知症科学分野 教授）

教 育 セ ミ ナ ー

10 月 16 日（土）13:00～14:00 A 会場

座長 前田 典彦（京都大学霊長類研究所）

「コロナ禍における大学動物施設の対応と教訓」

長尾 静子（藤田医科大学 研究支援推進本部 疾患モデル教育研究サポートセンター 教授）

セ ミ ナ ー Ⅰ

10 月 16 日（土）14:00～15:00 A 会場

座長 石河 秀樹（三重大学 先端科学研究支援センター動物実験施設）

「コロナ禍における生産場での対応」

1. コモンマーマセット生産現場におけるコロナ禍での対応

前田 哲（日本クレア株式会社 中動物事業部）

2. コロナ禍における生産場の対応

高木 久宜（日本エスエルシー株式会社）

セ ミ ナ ー Ⅱ

10 月 16 日（土）9:15～10:45 B 会場

パーソナリティ 丸山 滋（日本チャールス・リバー株式会社）

羽根田 千江美（藤田医科大学 研究支援推進本部 疾患モデル教育研究サポートセンター）

「環境材料（ホコリ）の有効活用 - 定期微生物モニタリングから除染確認まで」

1. オープン飼育での EAD 環境モニタリングの導入

齋藤 直之（株式会社大塚製薬工場）

2. 微生物モニタリングの方法を変更する機会と経緯について

寺門 一郎、土屋 英明（滋賀医科大学 動物生命科学研究センター）

3. 一方向気流式ラックにおける排気ダストによる微生物モニタリングの検討

石原 すみれ、木村 亮太、○平山 晴子、樫木 勝巳（岡山大学 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門）

サテライトセミナー（実技協本部共催企画）

10月14日（木）15:00～17:00

ファシリテーター 中野 洋子（帝京科学大学 生命環境学部アニマルサイエンス学科）

「何ならできる？動物福祉」 ―現場からの共有―

シンポジスト

1. 大学技術職員から動物実験施設利用者への発信

石原 すみれ（岡山大学 自然生命科学研究支援センター）

2. 大学における環境エンリッチメントの啓発

攝田 友香（大阪大学医学部附属動物実験施設（三協ラボサービス株式会社））

3. 技術者として動物とヒトとの架け橋をめざす

橋本 直子（京都大学霊長類研究所）

4. 一般状態観察から始まる動物福祉

横山 継育（株式会社スターラボ アステラス製薬つくば研究センター事業所）

5. 技術者自ら設定・実践する行動目標

若松 真矢（株式会社新日本科学 安全性研究所）

シンポジウム1（第54回旭川総会組織委員会企画）

10月15日（金）15:15～17:15 A会場

座長 室田 宏之（北海道大学 遺伝子病制御研究所附属動物実験施設）

日野 千紘（旭川医科大学 教育研究推進センター 技術支援部 動物実験技術支援部門）

「実験動物技術者の教育と育成のこれから」

シンポジスト

1. 実験動物技術者の役割をめざした道のり

小山内 努（元北海道大学医学部附属動物施設）

2. 実験動物技術者の教育と育成のこれから―技術者と施設管理者を経験した立場から―

小木曾 昇（国立長寿医療研究センター研究所 研究推進基盤センター 実験動物管理室）

3. 国際色豊かな環境の共同利用施設の一例として～沖縄科学技術大学院大学実験動物施設の紹介～

宮本 智美（沖縄科学技術大学院大学 実験動物セクション）

シンポジウム2（実技協本部共催企画）

10月16日（土）9:15～10:15 A会場

座長 日野 千紘（旭川医科大学 教育研究推進センター技術支援部動物実験技術支援部門）

「動物実験における適切な麻酔方法と安楽死を目指して」

シンポジスト

1. 実験動物に用いられる麻酔法の基礎

岡村 匡史（国立国際医療研究センター研究所 動物実験施設）

2. バルビツレートを用いた安楽死処置～生体応答から見るセコバルビタールの有用性～

赤木 佐千子（岡山大学自然生命科学研究支援センター）

シンポジウム3（実技協本部共催企画）

10月16日（土）10:30～12:00 A会場

座長 伊藤 恒賢（山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所）

野口 和浩（熊本大学大学院生命科学研究部）

「スキルアップ・ステップアップのマテリアル～講演会・講習会 in 支部活動s～」

シンポジスト

1. 技術者への修業支援—講演会・講習会を通じた実験動物技術の研鑽—

江藤 智生（日本実験動物技術者協会 関東支部・支部長）

2. 関西支部活動について～これまでとこれから～

三上 崇徳（日本実験動物技術者協会 関西支部・支部長）

3. 実技協九州支部における講演会および研修会等の活動状況について

野口 和浩（日本実験動物技術者協会 九州支部・前支部長）

4. 支部活動の活性化に本部はどう関われば良いのか

伊藤 恒賢（日本実験動物技術者協会 理事長）

トピックス 「動物実験を取り巻く機器の変遷 —過去・現在・未来—」

10月15日（金）16:00～17:20 B会場

座長 廣江 猛（自然科学研究機構 動物資源共同利用研究センター）

1. 個別換気ケージシステム（IVC）について

筒井 久美子（テクニプラスト・ジャパン株式会社）

2. 洗浄機・実験機材について

橋本 史哉（株式会社夏目製作所 営業部 東日本提案営業グループ）

吉川 弘幸（株式会社夏目製作所 営業部 西日本提案営業グループ）

3. 給水について

大谷 鉄也（日本クレア株式会社）

Well-beingひろば

10月15日（金）9:30～13:20・14:10～17:20、10月16日（土）9:15～14:00 Well-beingひろば会場

毎回恒例！！「Well-beingひろば」！

毎回恒例となりつつある「Well-beingひろば」、今回もやっちゃいます！

- ・どんなことから始めたらいいかわからない・・・
- ・お金を掛けなくでもできる方法は？

など、今更訊けないと思っていることでもここでは大丈夫！

もちろん、サテライトセミナーの内容についてさらに詳しく知りたい！という内容でもOKです。

今回はWEB開催なので、予約制で受け付けます。

- ・ご所属及びお名前
- ・ご希望日時
- ・相談内容（簡単にまとめて）
- ・相談員のご指名も、あれば受け付けます！

上記3点（または4点）を記載して、下記の福祉部員直通・今大会限定メールアドレス宛にご送付ください。

日時の確定は、後程こちらからお送りいたします。

予約は大会最終日まで受け付けています。連絡お待ちしております！

well-being@jaeat-tokaihokuriku.org

「三人寄れば文殊の知恵」。では、5人集まれば？10人集まれば？

実験動物の福祉に悩んでいる自分たちの福祉のために、似たような悩みを抱えている仲間と共にストレス発散してみませんか？！

福祉部一同、お待ちしております！

東海実験動物研究会 共催企画

10月16日（土）14:00～15:00 B会場

座長 二上 英樹（岐阜大学 科学研究基盤センター 動物実験分野）

「豚熱（CSF）発生時の状況と岐阜大学の対応」

猪島 康雄（岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 食品・環境衛生学研究室

岐阜大学 応用生物科学部 附属家畜衛生地域連携教育研究センター GeFAH

岐阜大学大学院 連合獣医学研究科

岐阜大学大学院 共同獣医学研究科教授）

総 会

10 月 15 日（金）13:30～14:00 株式会社コームラ会議室

書面決議のため、Web 配信は行いません。

各種表彰

Web 開催のため表彰式は行いません。受賞者の方々には表彰状および副賞を贈呈させていただきます。
なお、受賞者の方々より広報に寄稿をいただく予定です。

<第 54 回旭川大会 表彰>（敬称略）

第 39 回研究奨励賞

応募なし

第 26 回実験動物技術功労賞

該当なし

第 19 回顕彰

応募なし

第 11 回実験動物福祉奨励賞

「Public Engagement としての Beagle R Program の取り組み」

○安倍 宏明、石川 玄 マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社

第 23 回業界アワード

①日本実験動物協同組合賞（高木 博隆 理事長）

該当なし

②日本実験動物飼料協会賞（影山 靖 会長）

「高血圧自然発症ラット（SHR）におけるレモン残渣添加食の血圧上昇抑制効果」

○川上 浩平¹、山田 和夫²、竹下 治男²、松尾 裕之¹、山田 高也¹

¹ 島根大学総合科学研究支援センター実験動物部門、² 島根大学医学部法医学

③日本実験動物器材協議会賞（小原 喜代三 会長）

該当なし

<第 55 回岐阜大会 表彰>（敬称略）

第 40 回研究奨励賞

応募なし

第 27 回実験動物技術功労賞

青山 典人（岐阜大学 応用生物科学部 附属動物病院）

前田 秀之（福井大学 ライフサイエンス支援センター 生物資源部門）

小木曾 昇（国立長寿医療研究センター 研究所 実験動物管理室）

第 20 回顕彰（顕彰第 17 号）

数田 裕樹（関西支部）

第 12 回実験動物福祉奨励賞

旭川大会中止のため選考なし

第 24 回業界アワード

旭川大会中止のため選考なし

一般演題 口頭発表

一般講演 1

10月15日（金）9:30～12:40 B会場

- 座長 O1-1～O1-4 竹原 広（株式会社 安評センター 研究本部 安全性大動物試験室）
O1-5～O1-8 中村 直子（熊本大学生命資源研究・支援センター実験動物分野）
O1-9～O1-12 伊藤 麻里子（名古屋大学）
O1-13～O1-16 宮地 均（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所）

「モデル動物・病態管理」

O1-1 腸内環境の変化がパーキンソン病における神経変性に及ぼす影響について

－ MPTP モデルにおける検討－

○澤田 浩秀^{1,2}、小木曾 昇²、六車 香織^{2,3}、高野 聡美^{2,4}

¹ 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科、

² 国立長寿医療研究センター 研究推進基盤センター 実験動物管理室、³ 中部大学 応用生物学部、

⁴ 名古屋市立大学 実験動物研究教育センター

O1-2 腸内環境の変化がパーキンソン病における神経変性に及ぼす影響について

－ Rotenone モデルにおける検討－

○澤田 浩秀^{1,2}、小木曾 昇²

¹ 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科、

² 国立長寿医療研究センター 研究推進基盤センター 実験動物管理室

「代替・動物福祉」

O1-3 Beagle R program のオンラインでの取り組み

○安倍 宏明、石川 玄

マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社

O1-4 げっ歯類であるマウス、ラット及びモルモットは金網床よりも床敷を敷いた平板の床を好む

○直喜 隆伸¹、俣野 泰史¹、上田 博明²、坂田 喜代人²

¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 小野薬品工業株式会社

O1-5 マウス尾静脈内投与および尾静脈採血トレーニングのために新たに開発された

マウス尻尾シミュレーターの紹介

○尾崎 順子¹、村上 誠²、栢本 直行²、伊藤 恒賢¹

¹ 山形大学医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター、² 株式会社ハンドレッド

O1-6 図動物による微生物モニタリングから環境スワブを用いた PCR 微生物モニタリングへの変更の検討

○井之上 幸範¹、中村 由季子¹、橋本 憲佳²、大黒 多希子²

¹ 金沢大学 総合技術部 生命部門 実験動物研究施設、

² 金沢大学 疾患モデル総合研究センター 実験動物研究施設

O1-7 実技協松山大会 実験動物福祉部イベント「グループワークの実践」

ー動物実験をどう伝えるか？ー 実施報告

○中野 洋子、荒川 仁、石原 すみれ、岡本 明、上條 信一、坂本 雄二、白濱 育美、武井 信貴子、土屋 英明、橋本 直子、横山 継育
(一社) 日本実験動物技術者協会 実験動物福祉部

O1-8 ヒトの「声かけ」がマウスに与える影響について

○橋本 春菜、武智 眞由美、花井 幸次
島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター

O1-9 アニメーション技術を活用したマウスバンクに関するアウトリーチの推進

○前田 龍成^{1,2}、中尾 聡宏¹、竹尾 透¹、中潟 直己²
¹熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設 (CARD) 資源開発分野
²熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設 (CARD) 生殖工学共同研究分野

O1-10 自然老化マウスにおける人道的エンドポイントの設定 ー適正な自然老化モデル研究を目指してー

○小木曾 昇¹、富田 耕平²、高野 一路²、坂本 千夏²、河崎 晴香¹、森川 信子¹、アルムニア フリオ¹
¹国立長寿医療研究センター研究所 実験動物管理室、²株式会社ケー・エー・シー

O1-11 実験用霊長類の行動評価を用いた潜在リスクアセスメント (予備的調査)

○橋本 直子
京都大学霊長類研究所

O1-12 イヌの群飼育ケージ及び飼育管理方法の紹介

○住川 守男、笠原 彩樹、木下 亮一、山中 沙織、平岩 吾朗、千葉 薫
株式会社 JTクリエイティブサービス

「繁殖・発生工学」

O1-13 老齢遺伝子改変ラット凍結精子における体外受精成績

○中潟 直己¹、三小田 伸之^{1,2}、近藤 朋子^{2,3}、石田 恵理^{2,3}、坂口 摩姫^{2,3}、弟子丸 優果^{2,3}、山下 紀代子^{2,3}、岩本 まり³、高橋 郁³、中村 直子⁴、川辺 正等美⁴、中尾 聡宏³、山鹿 優真¹、土山 修治³、鳥越 大輔⁴、竹尾 透³
¹熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野、²九動株式会社、³熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、⁴熊本大学生命資源研究・支援センター (CARD) 実験動物分野

O1-14 福岡大学アニマルセンターにおける配偶子凍結保存の実績 2020

○西山 由紀^{1,2}、吉村 健吾²、川口 雅人²、松山 充²、永島 博²、古賀 崇男¹、田中 聖一¹
¹福岡大学アニマルセンター、²株式会社アニマルケア

「薬理・安全性」

O1-15 シナプス形成を指標としたグルホシネット曝露による中枢神経系への農薬影響評価

○和泉 宏謙¹、出村 舞奈¹、今井 彩子¹、吉田 知之¹、小川 良平²、森 寿¹
¹富山大学・医学部・分子神経科学、²富山大学・医学部・放射線診断・治療学

O1-16 弱酸性次亜塩素酸水溶液の生体使用に伴う組織学的影響

○半田 紀子¹、清水 真理子¹、坂本 瑞希¹、伊藤 昌紀¹、宮澤 和志¹、兼田 裕司²、古林 与志安³、伊藤 拓哉⁴、國田 智¹

¹ 自治医科大学 先端医療技術開発センター、² 自治医科大学 消化器一般移植外科、

³ 帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター、⁴ 旭川医科大学 教育研究推進センター

一般講演 2

10月15日（金）14:50～15:50 B会場

座長 O2-1～O2-3 前田 秀之（福井大学 ライフサイエンス支援センター）

O2-4～O2-5 窪田 美津子（自然科学研究機構 動物資源共同利用研究センター）

「管理・施設」

O2-1 動物実験施設改修工事期間中の紫外線カットフィルムによる昆虫侵入防止対策

○乾 守裕¹、廣江 猛^{2,3}、王 振吉^{2,3,4}

¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 自然科学研究機構生理学研究所、

³ 自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター、⁴ 総合研究大学院大学

O2-2 新棟建設を経験して～技術系職員が知っておくこと～

○井上 龍太

大阪大学 微生物病研究所 附属感染動物実験施設

O2-3 動物施設消毒薬としての GSEμ ファイバーの有用性の検討

○後藤 一雄¹、桐谷 光夫¹、鈴木 幸一¹、堀越 和弘²、角間 司朗²

¹ 帝京大学 医療技術学部、² アジェンズ株式会社

O2-4 大規模災害時における実験動物の寒天給水法の検討

○安野 航¹、高橋 智輝¹、若井 淳^{1,2}

¹ 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 動物研究センター、

² 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 実験動物医学研究部門

O2-5 上層階に位置する実験動物施設の地震対策について

○高橋 まみ、栗崎 政希、小島 修樹、矢吹 侑也、伊藤 美智代、伊藤 椋大、庄司 友美、水本 美穂子、中村 晃、川村 俊介

東北医科薬科大学 実験動物センター

10月16日(土) 11:00~12:10 B会場

座長 O3-1~O3-3 富田 耕平 (株式会社ケー・エー・シー アニマルサイエンス西日本事業部)
O3-4~O3-6 橋本 直子 (京都大学霊長類研究所)

「管理・施設」

O3-1 実験動物施設飼育室におけるロボット掃除機の導入について

○土橋 悠¹、津谷 優子²、中山 隆幸²、市橋 愛²、片平 清昭¹
¹ 福島県立医科大学医療-産業 TR センター、² 株式会社ジェー・エー・シー

O3-2 ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを用いた動物施設の消毒に関する検討

○武智 眞由美、花井 幸次
島根大学

O3-3 福岡大学アニマルセンターの新型コロナウイルス感染症への対応について

○古賀 崇男¹、永島 博²、松山 充²、川口 雅人²、田島 柳一²、吉村 健吾²、坂元 愛²、西山 由紀²、
橋本 佳典²、岡元 友美²、大山 剛²、塩田 里美²、田中 聖一¹
¹ 福岡大学アニマルセンター、² 株式会社アニマルケア

O3-4 サル類における検疫の歴史

○赤荻 誠一郎¹、菊地 聡史¹、石川 安澄¹、田子 和明¹、清水 龍輝¹、篠宮 岳典²、田中 繁太郎³、
浅川 英教¹
¹ ハムリー株式会社 筑波研究センター 動物技術研究所、² ハムリー株式会社 経営戦略室、
³ ハムリー株式会社 東京営業所

O3-5 個別換気ケージシステムの除染作業時の常在微生物検査を用いた評価法の検討

○辻本 恵一¹、野牧 博通²、磯部 剛仁²、渡邊 利彦²、梅垣 範人¹、野宮 貴雄¹、澤田 渉¹、
鈴木 とわこ¹
¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 中外製薬株式会社

O3-6 実験動物の生に配慮し、その求めに応じる者一真の CareTaker 養成計画

○澤田 渉¹、野宮 貴雄¹、辻本 恵一¹、梅垣 範人¹、渡邊 利彦²、磯部 剛仁²、野牧 博通²
¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 中外製薬株式会社

一般演題 ポスター発表

コアタイム：ポスター番号奇数 10月15日（金）14:10～14:40

ポスター番号偶数 10月16日（土）13:00～13:30

※ コアタイムは奇数番号、偶数番号に分けて行います。ポスター番号をご確認の上、演者の皆様は各コアタイム 10 分前に「Web 開催特設サイト」から ZOOM ブレイクアウトルームで待機してください。

モデル動物・病態管理

P1 ミニブタを用いたマイクロビーズによる腎不全モデルの作製

○山本 真史、長尾 友子、伊藤 昭人、松本 美奈、赤司 卓也、池田 博信
日精バイリス株式会社 滋賀研究所

P2 自然老化ラットを用いた加齢による血液パラメーター変化について

○野間 聡子¹、坂本 千夏¹、高野 一路¹、富田 耕平¹、アルムニア フリオ²、小木曾 昇²
¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室

P3 自然老化ラット作製に向けた基礎データの蓄積と加齢変化について

○坂本 千夏¹、野間 聡子¹、高野 一路¹、富田 耕平¹、アルムニア フリオ²、小木曾 昇²
¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 国立長寿医療研究センター 実験動物管理室

P4 Rosa26 ノックイン型認知症モデルマウスの作製

○南久松 丈晴¹、下條 雅文¹、矢内 凜¹、種村 健太郎²、樋口 真人¹、佐原 成彦¹
¹ 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門量子医科学研究所
脳機能イメージング研究部、² 東北大学大学院 農学研究科 動物生殖科学分野

管 理 ・ 施 設

P5 給水ビンにおける細菌汚染の変動についての追跡報告

○羽根田 千江美、坂田 美和、亀井 優香、長尾 静子
藤田医科大学 研究支援推進本部 疾患モデル教育研究サポートセンター

P6 LED 灯および蛍光灯の CrI:CD (SD) ラットの眼球に対する影響

○大塚 健司、熊谷 光華、新田 牧希江、佐井 克典、古谷 政一、宮崎 勝由、山本 英明
日本チャールス・リバー株式会社

P7 アレルゲン遮断性向上のための個人保護具の改良

○櫻井 宏樹¹、田中 徹也¹、石田 孝一¹、千田 修¹、富田 克彦¹、山本 英明¹、柳瀬 智規²
¹ 日本チャールス・リバー株式会社、² 株式会社ゴールドウイン

P8 マウス統合管理システムの開発

○小林 喜美男¹、喜田 裕一郎²、後藤 元人¹、小倉 智幸¹、高橋 利一¹
¹ 公益財団法人実験動物中央研究所 動物資源技術センター、² 株式会社 ライフイズ

P9 マウスの飼育用アイソレータに用いる自動給水システムの開発

○加藤 昌洋¹、駒形 篤史¹、野上 尚武¹、中野 昭典¹、坂井 真紀子²、山本 英明¹

¹ 日本チャールス・リバー株式会社、² 矢崎化工株式会社

P10 施設構造の特徴からみる衛生害虫チャタテムシの侵入経路とその対策

○作間 赳法、阿部 光寿、鈴木 康浩、小田 佳奈子、福田 七穂、笹岡 俊邦
新潟大学脳研究所 附属生命科学リソース研究センター 動物資源開発研究分野

P11 アクロファイン PRO8000 を用いた小型アイソレータの滅菌効果の検討

○富山 香代¹、何 裕遙¹、野津 量子¹、今井 都泰²、小倉 智幸¹、高橋 利一¹、高倉 彰¹

¹ 公益財団法人実験動物中央研究所、² 株式会社ジック

P12 動物福祉を考慮した実験用大型ブタ対応飼育室の増設工事

○藤田 順一¹、関根 世絵梨¹、本田 元巳¹、大後 舞花¹、岡田 直大¹、ベゼハ マリナ¹、川端 大皓¹、
原 弘之^{1,3}、石井 敬基^{1,2}

¹ 日本大学医学部 総合医学研究所 医学研究支援部門、² 日本大学医学部 医学研究企画・推進室、

³ 日本大学医学部 生体構造医学分野

P13 自作集塵装置

○林 耕治¹、田丸 浩史¹、花田 雅子¹、渡部 治¹、富田 耕平¹、数田 裕樹²、清末 和之³

¹ 株式会社ケー・エー・シー、² 有限会社 福田技研、³ 国立研究開発法人産業技術総合研究所

P14 クリーンエリア内用モップの洗濯乾燥機を用いた運用検討

○田丸 浩史¹、渡部 治¹、林 耕治¹、花田 雅子¹、富田 耕平¹、紺屋 好美¹、数田 裕樹²、
清末 和之³

¹ 株式会社ケー・エー・シー、² (有) 福田技研、³ 国立開発研究法人 産業技術総合研究所

P15 動物実験施設におけるインシデント影響度分類の開発

○和穎 岳、梶尾 正雄、大塚 純、太田-高田 有紀、田島 真之介、角 将一、川上 幸治
株式会社ヤクルト本社 中央研究所

P16 東北医科薬科大学福室動物室における露点浴空調設備の概要と運用状況の紹介

○栗崎 政希¹、小島 修樹²、矢吹 侑也²、伊藤 美智代²、伊藤 椋太²、水本 美穂子²、庄司 友美²、
高橋 まみ²、岡村 信行¹、中村 晃²、川村 俊介²

¹ 東北医科薬科大学 医学部 技術室、² 東北医科薬科大学 実験動物センター

P17 新旧実験動物施設保守点検項目の比較と空調システムの選定の経緯

○小島 修樹、栗崎 政希、矢吹 侑也、高橋 まみ、伊藤 美智代、伊藤 椋大、水本 美穂子、庄司 友美、
中村 晃、川村 俊介

東北医科薬科大学 実験動物センター

P18 微小昆虫チャタテムシの発生から駆除対応について（第2報）

○矢吹 侑也、高橋 まみ、小島 修樹、伊藤 美智代、伊藤 椋大、水本 美穂子、庄司 友美、栗崎 政希、
中村 晃、川村 俊介

東北医科薬科大学・実験動物センター

P19 実技協関西支部が講習会テキスト配布事業で実施したアンケートについて

○井上 龍太、(一社)日本実験動物技術者協会 関西支部幹事一同
(一社)日本実験動物技術者協会関西支部／大阪大学微生物病研究所附属感染動物実験施設

P20 二酸化塩素デバイスを用いた簡便な高水準消毒の紹介

○伊藤 由広¹、原田 士郎²、日原 剛²、山手 哲郎²、田中 繁太郎¹、山中 淳一¹、藤白 雅人¹、菅野 史郎¹、
佐藤 雄也¹、田子 和明¹、菊地 聡史¹、関 あずさ¹
¹ハムリー株式会社、²株式会社ルミカ

P21 気相式核酸分解技術によるガス消毒器の紹介と評価について

○高野 一路¹、富田 耕平¹、小木曾 昇²、三屋 耕司³、鈴木 康士⁴
¹株式会社ケー・エー・シー、²国立長寿医療研究センター実験動物管理室、³水戸工業株式会社、
⁴株式会社シーライブ

P22 Slack を用いた動物施設管理の紹介

○廣江 猛¹、乾 守裕²、山中 緑¹、谷川 綾菜²、藤田 涼太郎²、太田 里美²、窪田 美津子¹、
西島 和俊¹
¹自然科学研究機構 動物資源共同利用研究センター、²株式会社ケー・エー・シー

P23 ツイスト式給水瓶キャップ締め付け治具の開発

○窪田 美津子¹、乾 守裕²、佐治 俊幸¹、太田 里美²、廣江 猛¹、西島 和俊¹
¹自然科学研究機構 動物資源共同利用研究センター、²株式会社ケー・エー・シー

実 験 手 技

P24 個別換気ケージによる無菌マウスの自発運動量測定法の検討

○小島 圭介¹、何 裕遥¹、富山 香代¹、植野 昌未²、小倉 智幸¹、野津 量子¹、高橋 利一¹
¹公益財団法人実験動物中央研究所 動物資源技術センター、
²公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンター

P25 CIEA セミナーⅠ：基礎技術研修－マウスの動物実験基礎技術－の紹介

○橋本 晴夫、富澤 政史、日置 恭司、伊藤 豊志雄、横山 峯介、高倉 彰
公益財団法人実験動物中央研究所 教育・研修室

P26 3 種混合麻酔薬に対する拮抗薬の投与量及び保温効果による覚醒時間への影響

○伊藤 恒賢、尾崎 順子、須藤 まゆみ、福田 直樹、野原 豪和、井上 歩、房 知輝
山形大学医学部 メディカルサイエンス推進研究所 動物実験センター

P27 ラット生殖工学技術の習得に関する知見 －精子凍結融解および体外受精－

○西川 尊樹¹、中村 智¹、川内 勝¹、藤山 祐弥¹、落合 勇仁¹、樋口 亮太¹、三小田 伸之^{1,2}、篠原 秀季¹、
竹尾 透³、中潟 直己²
¹九動株式会社、²熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野、
³熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野

生理・生化学・薬理・安全性

P28 ヒト用パルスオキシメーターのビーグル犬及びカニクイザル酸素飽和度測定への有用性の検討

○遠藤 和守、根岸 裕美、小倉 宏之
LSIM 安全科学研究所 鹿島研究所 安全性研究部

P29 ラットの飼育環境が毒性学的検査に与える影響

○小地沢 麻樹、松田 仁美、石本 明宏、六角 香、岡崎 勇、木村 恵人
日精バイリス株式会社 滋賀研究所

代替・動物福祉

P30 げっ歯類用エンリッチメント（Happi-mats）の日本における各施設の使用状況

○石川 玄、安倍 宏明
マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社

P31 マウスの環境エンリッチメント材における有効性の評価確立とその実践

○山本 英明、関口 誉文、加藤 昌洋、川内 大助、高山 龍一、大塚 健司、桑原 勝之、立川 裕子、
佐藤 征直
日本チャールス・リバー株式会社

P32 加齢育成マウスにおける環境エンリッチメントの有用性

○アルムニア フリオ¹、富田 耕平²、高野 一路²、坂本 千夏²、河崎 晴香¹、森川 信子¹、
小木曾 昇¹
¹ 国立長寿医療研究センター研究所 実験動物管理室、² 株式会社ケー・エー・シー

繁殖・発生工学

P33 全自動マイクロインジェクションによる遺伝子改変マウスの作製

○江藤 智生¹、植田 裕基²、伊藤 亮治¹、高橋 司¹、渡部 聡朗¹、後藤 元人¹、外丸 祐介³、高橋 利一¹、
田中 伸明²
¹ 実験動物中央研究所、² 日本精工、³ 広島大学

P34 コロナ禍における精子冷蔵輸送法を活用した遺伝子改変マウスのバックアップ対策

○山下 紀代子^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、石田 恵理^{1,2}、坂口 摩姫^{1,2}、弟子丸 優果^{1,2}、三小田 伸之^{2,3}、岩本 まり¹、
高橋 郁¹、坂本 亘¹、土山 修治¹、中尾 聡宏¹、中川 佳子¹、中潟 直己³、竹尾 透¹
¹ 熊本大学 生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野、² 九動株式会社、
³ 熊本大学 生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野

P35 各種系統ラットにおける凍結精子の受精能について

○三小田 伸之^{1,2}、中尾 聡宏³、山鹿 優真¹、竹尾 透³、中潟 直己¹
¹ 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）生殖工学共同研究分野、² 九動株式会社、
³ 熊本大学生命資源研究・支援センター（CARD）資源開発分野

P36 CARD マウスバンクにおける各種マウス系統に対する超過剰排卵誘起法の成績

○石田 恵理^{1,2}、近藤 朋子^{1,2}、山下 紀代子^{1,2}、坂口 摩姫^{1,2}、弟子丸 優果^{1,2}、三小田 伸之^{2,3}、岩本 まり¹、高橋 郁¹、坂口 香織¹、坂本 亘¹、土山 修治¹、中尾 聡宏¹、中川 佳子¹、中潟 直己³、竹尾 透¹
¹ 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 資源開発分野、² 九動株式会社、³ 熊本大学 生命資源研究・支援センター (CARD) 生殖工学共同研究分野

P37 HVJ Envelope (HVJ-E) を用いたマウス体細胞核移植操作の有用性

○大原 なずな¹、佐藤 友哉¹、藤野 奈央²、小泉 太一¹、安齋 政幸^{2,3}
¹ 近畿大学生物理工学部、² 近畿大学大学院、³ 近畿大学先端技術総合研究所

P38 胚移植による NASH モデル (FLS.ob/ob マウス) の生産スペース削減と増産の両立

○橋本 世津子¹、桂 幸子¹、竹之内 詩乃¹、嶋田 有里¹、廣瀬 清香¹、塚原 清志¹、小西 晴世²、濱田 忠輝²、房前 裕順¹、曾我 正彦¹、鈴木 稔¹
¹ シオノギテクノアドバンスリサーチ株式会社 モデル動物生産部門、² 塩野義製薬株式会社 先端医薬研究所

P39 産仔を最大化するための新規過排卵法と i-GONAD への応用

○長谷川 歩未¹、持田 慶司¹、中村 彩花²、宮ヶ迫 理子²、大塚 正人²、畠山 雅彦³、小倉 淳郎¹
¹ 理化学研究所 バイオリソース研究センター、² 東海大学、³ 日本クレア株式会社

P40 誰でもすぐできる！超簡単なマウス精子の凍結保存法

○持田 慶司、長谷川 歩未、四方 大樹、伊丹 暢彦、羽田 政司、渡邊 奈穂美、富島 俊子、小倉 淳郎
理研バイオリソース研究センター

微生物・感染・免疫

P41 IVC システム使用時の微生物モニタリングの一例

○佐古 典久¹、市瀬 誠一²、直井 実穂³、中村 孝博³、加藤 克彦¹
¹ 日本チャールス・リバー株式会社、² EPトレーディング株式会社、³ 明治大学 農学部 動物生理学研究室

P42 マウス肺パスツレラ菌感染事故における経過と対応（主に、エンロフロキサシン治療について）

○高岩 郁江、川村 清久、李 成一、平野 伸二、木梨 達雄
関西医科大学 附属生命医学研究所 実験動物飼育共同施設

P43 動物実験施設における抜き取り検査および微生物モニタリング項目以外の検査に関する重要性

○中村 直子^{1,2}、川辺 正等美^{1,2}、石田 恵理^{2,3}、竹尾 透²、荒木 喜美²、鳥越 大輔²
¹ 熊本大学 技術部、² 熊本大学 生命資源研究・支援センター、³ 九動株式会社

P44 Staphylococcus aureus と Proteus mirabilis が混合感染したマウスの症状と感染経過及びクリーンアップ

○小浦 美奈子、土井 悠子、佐々木 光穂、鈴木 治
医薬基盤・健康・栄養研究所 疾患モデル小動物研究室